

こぶし だより

働こう障害者も

SSKW

働けるんだオレたちも



猪苗代湖で船にのりました（こぶし作業所）

C
O
N
T
E
N
T
S

- ① 特集「第29回 きょうされん大会に参加して」… 2P～3P
- ② トピックス …………… 4P～5P
- ③ 評議員から一言 …………… 4P～5P
- ④ ふれんどパーク …………… 6P
- ⑤ こぶしサポーターズ …………… 7P
- ⑥ アドレス・編集後記 …………… 8P

No.305

2006

10

第29回 きょうされん大会に 参加して

特集



9月30日(土)・10月1日(日)に、きょうされん29回全国大会INえひめが愛媛県松山市で開催されました。こぶしの会も職員・利用者とあわせて9名が参加しました。

文化水準の高さを実感した 愛媛大会

「あなたの思い 私の願い 大きく咲かそうみかんの里で」をスローガンに開催されました。総会と大会を切り離しての開催は、昨年の栃木大会に続く二年目となりました。開催直前になっても参加者が思うように伸びず、愛媛からそして全国事務局から連日参加の呼びかけがされました。昨年度から今年度にかけて障害者自立支援法に反対する大規模な集会に参加したり、四月から支援費が日額払いになり事業所の経営状況が厳しくなったこと、そして一〇月一日の事業体系移行実施に向けて準備に追われていることなど、その厳しさは想像するに余りありましたが、そうした中、参加の呼びかけに最後まで力を尽くして応えた全国の仲間たち総勢一、九〇〇名(他ボランティア六〇〇名)が愛媛県松山市に集いました。こぶしの会からは九名が参加しました。

今回の大会は、障害者自立支援法の一部施行に伴い「応益負担」制度がスタートし、大会二日目の一〇月一日には、「新事業体系への移行」「地域生活支援事業」がスタートするという中で行われました。「応益負担制度」の撤回に全力でとりくむことを確認し合い、具体的な今後の運動のあり方を話し合うこと、きょうされんの実践を具体的に論じ深め合うこと、「障害のある人が主人公」を各地の実践や交流を通して課題を明らかにし具体的にすること、きょうされん運動を全国の隅々まで広

げることを今大会の課題として行われました。

一日目の全体会は、地元仲間たちの「愛を生み出す仲間の大合唱」のパワー溢れる歌声で幕を開けました。開会あいさつには、一〇〇歳を迎えられたきょうされん顧問の秋元波留夫先生のビデオレターが紹介されました。障害者自立支援法の本質と、憲法第九条の改正をめぐる状況に心を痛め、連帯の力で乗り切っていきましょうと力強いあいさつが流れました。基調報告は、まだはじまったばかりの障害者自立支援法による応益負担が、障害をどうとらえるのか、「障害の自己責任論」・「格差社会」の下支えを担わされようとしていること、障害者自立支援法の問題をもっと社会全体に結び付けていく必要性が報告されました。

記念講演は、「まちづくり、ひとづくり」と題して、脚本家であり作家でありエッセイストであるジェームス三木さんのお話でした。「理念と文化の蓄積が人づくりにいかに大切であるか」とユーモアたっぷりになんか楽しい講演でした。

午後三時からは、一〇の分科会と入門講座として「アツキヨコンサート」が同時進行で行われました。夜は大交流会。全国の仲間たちと楽しく交流しました。二日目は分科会と入門講座として観光ツアーが朝の九時からお昼まで、これも同時進行で進められました。分科会は昨年から五年間継続のテーマで行われ、論議を積み重ねていく事を大切に進められました。

皆さんに訴えます！私たちの力で利用者部会を作りましょう！」と、来年第三〇回全国大会時に利用者部会結成を目指しての準備会アピールと、私たちの運動への関心・理解と支援を訴えたアピールが参加者の大きな拍手で採択されました。来年は記念すべき第三〇回の全国大会が東京で開催されます。これまでと違った記念の大会としての特別な内容が準備されることになっていることも報告されました。

会場には、二〇〇七年カレンダーコンクール入賞作品の原画の展示や全国の自主製品即売所が設けられた皆さんの参加者であふれていました。会場の目の前にはバス停があり、路面電車が走り、交通網の整備された街であること、また、大交流会の伊予漫才(無形文化財)を鑑賞し、文化水準の高さを肌で感じ取ることができた大会でもありました。

セルブ・みらい 鈴木 順子

胸にグツときた開会全体会

今回、三回目の全国大会参加になりました。準備する側だった昨年と違い、今回は冷静に(?)参加することができました。開会全体会では体調不良で欠席の一〇〇歳の秋元波留夫先生が声のメッセージを送ってくださり、阿倍総理誕生ですます障害者福祉が切り捨てられ憲法九条が変えられようとしていることに対し、私たちが力を結集して平和の道を進んでいきましょう、と訴えられ胸にぐつと来るものを感じました。大交流会では、伝統ある「伊

予万歳」も堪能でき、ホテルへは路面電車に乗り、坊ちゃんの街を楽しんできました。

セルブ・みらい 矢口 圭子

特別分科会 「アルコール・薬物依存症」

関わりの中で見えてきた課題「有床診療所におけるとりくみ」という内容で、医療法人みやもとクリニック院長の宮本正道氏（愛媛県）の講話を聞かせていただきました。日本において、約二四〇万人いると報告されているアルコール依存症の方に対して、どれだけ関係機関が情報を集め総合した支援をしてきたか。未だ繰り返し入院を繰り返す患者自身の問題「意思が弱い、止める気がない」等として片付けられている傾向が強いこと。そして、医療が統合されていない問題等があげられました。私自身、関係者として耳が痛い話でもありました。関係者にできることは、アルコールを必要としない生活習慣を身につけられるよう、当事者の方と一緒に歩いてあげる気長な人間関係をつくり、一方的な支援にせず後ろから支えてあげることが大切だと言われました。この宮本先生の深い思いを、一人でも多くの関係者が知ることが必要であると感じました。

第2けやき作業所 渡辺 郁子

分科会「仲間交流」

愛媛県は宇都宮から電車で八時間もかかりとても遠かったです。電車

からみた瀬戸大橋はとても綺麗でした。私は、自治活動の分科会にアドバイザーとして参加しました。一日目は、自治活動のレポート発表があり、各作業所が誕生会や旅行など仲間が楽しめるイベントを企画していました。

また、自立支援法になって今後どのような自治活動を行えばいいのかわかると意見がたくさんありました。二日目は、各県の支部会についての話し合いがありました。私はきょうされん栃木支部会の代表をしています。現在、支部会は全国に少ないので三〇周年には多く立ち上げられるように話をしてみました。これから先、全国に支部会を増やしておおいにきょうされんを盛り上げていきましょう。

けやき作業所 直井 信也

分科会「仲間交流」

初参加は就職した後の岐阜大会。翌年はみんなで視察の神戸大会。昨年はご当地開催と、幸か不幸か？四年連続参加となりました鈴木美輝です。昨年に引き続き直井信也さんと一緒に仲間交流分科会「私たちの自治活動を考える」に参加しました。自治会のあり方を考えるというテーマについて様々な意見、疑問、悩み、不安などが参加者から出されとても活気のある分科会でした。自分達の自治会・作業所を良くしようという思いが伝わってきました。

仲間主体の分科会でしたが、そこに支援者も参加してけるとよいなと思いました。お互いに交流をしていき仲間が支援者に何を求めているのか、自治

会支援のあり方を見つけることができるとは感じました。今回の経験を今後の本人活動支援に大いに生かしていきたいと思っています。

けやき作業所 鈴木 美輝

分科会「国際交流」

国際交流分科会に参加しました。欧米の福祉事情についての分科会であり、特に個人個人に合わせたマネジメントやプランについて日本との違いに驚きました。その中でも欧米では、障害者一人ひとりに合った援助をしていて、助成金が出されています。日本では個々にあったように見えるが、区分によって助成金が異なる仕組みであって、その枠に収まりきれない費用はすべて自己負担になってしまいます。本当に一人ひとりに合ったより良い支援・援助をするのであれば欧米を見習う必要があると思えました。このように欧米など他の国との交流があり、日本の各地域対策を知ることができきょうされんは、自分の支援について考えることができ、それを仲間や他の障害者に活かしていけるのではないかと考えさせられました。

けやき作業所 海老原 麻由

分科会「国際交流」

私は、分科会で国際交流に参加しました。ニュージーランドでの障害者の地域生活や障害者権利条約について学びました。日本とニュージーラ

ンドの違う点は、ニュージーランドには、障害者施設がないという点、サービスの費用を国が負担しているという点です。国の政治的取り組みの内容として、在宅支援サービス・生活保護制度・支援つき雇用等です。国がバックアップして障害者に対してサービス提供を行っているので、障害者が安心して暮らせる国だと感じました。

第2けやき作業所 青木 麻依

分科会「相談・アフター」

私は初めて、きょうされん全国大会に参加させていただきました。全国の障害のある人や家族、職員、関係者の力を感じることができ、現在の厳しい状況を乗り越える勇気と元気をもらうことができました。

私が参加した相談・アフターフォロワー分科会「頼りがいのある相談支援って何？」では、自立支援法が施行されてからの相談支援の動きや問題点、これからの課題がレポーターより発表され、その後、全体から現在抱えている問題や不安等が出されました。自立支援法施行後、新しい事業所が相談事業を始めたたり、市町村の理解が得られなかったりするなかで、地域によって相談支援の質の差が生じてきていることが明らかになりました。今後、地域のネットワーク作りをしっかりと行い、そのサポートを行ったり、市町村担当者の理解を深めたりしていくことが必要だと感じました。

ごぶし作業所 中野 愛

トピックス

こぶし作業所 仲間とともに親睦旅行



いくぞ～

狭い通路を歩いて自分のイスにすわるのでしょうか？いつも作業所では手を貸してもなかなか前へ進むのも難しい人、車椅子でなければだめな人、

最高に晴れた親睦旅行の朝、集合場所の駐車場に着くと、大きな観光バスが止まっています。大勢の保護者の方、仲間の皆がワイワイにざやかに話し合っている光景が印象的でした。みんな楽しみにしていた旅行が現実の日になり、喜びと期待に胸を膨らませ前の晩には興奮してあまり眠れなかった仲間もいたのではないのでしょうか。ほとんどの仲間がそうだったでしょう。

さあ、いよいよみんなが楽しみにしていた旅行の開幕です。バスに乗ってイスに座るまでみんなのようにしてステップを上がり、狭い通路を歩いて自分のイスにすわるのではありませんか？いつも作業所では手を貸してもなかなか前へ進むのも難しい人、車椅子でなければだめな人、



五色沼見てひとやすみ

調子が悪そうに顔色の悪い人などなど。バスのステップは狭い通路に四段五段もあります。私はこの七月から勤め始めたばかりの新人です。い



二人羽織 すごい顔

つも仲間の動きから推測して、大変努力のいるサポートが必要になるだろうと心配していました。ところがどうでしょう、車椅子の人も補助具使用の人も自分から立ち上がって「すいすい」と職員の手を借りて高いステップをあがっていくではありませんか。大変嬉しくなりました。自分で足に腰に、自力を入れて歩くことを仲間の皆が意識したことを。自分でできることはやらなければなら

こぶしの会

評議員から一言

日高定昭様

(作新学院大学経営学部教授)



清原の職場への通勤途中、「こぶし作業所」の方々の散歩とすれ違うようになって久しい。数年前、はじめて作業所を訪れ、お話を聞き、作業も見せていただいた。一八年前に大学に赴任して、経営学を学ぶ私が偶然のことから県社会福祉協議会の特別委員会の委員となり、報告書の執筆を分担した。また、数年前には同じく社会福祉法人に関する調査の委員となって、県内のいくつかの障害者施設を見せていただいた。「こぶし作業所」もそのひとつであった。田澤さんとそこで県社協以来の久しぶりの再会をした。このような経験から障害者の問題は専門としては門外漢である私にとって常にかわりのある問題となった。

「障害者自立支援法」についても関心を



ぶどう狩りでお腹いっぱい食べました～

事の後の顔、手などの清拭。トイレの後の処理、転んでのけが。その時のためのティッシュ、タオル、キズバンなど、私のバッグの中はこのような用具でいっ

ぱいになりました。けれど使ったのはタオル二、三枚でした。猪苗代湖での遊覧船での湖面めぐり。ゆるる船の中で気持ちが悪くなる人もいなく、無事に湖岸に帰ってきた時、みんなの目は満足感に浸っていました。車の中でのカラオケハプニング、パーキングでのトイレタイムのための乗り降り、松原湖での昼食タイム、温泉ホテルでの入浴時間、夜の宴会でのカラオケ、二人羽織。フルーツランドでのぶどう狩り。鶴ヶ城の見学。いつまでも深く懐かしく、仲間の皆の心に良い思い出として残ることでしょう。もちろん私もみんなと同じように、いつまでもいつまでもあの時の良い思い出として心に残ることでしょう。仲間の皆はこの旅行で、自立しなければならぬという気持ちを持っていて、私に教えてくれました。また仲間の皆がお互いに協力しなければならぬ気持ちを持っていることを、教えてくれました。

旅行委員の方々、本当にありがとうございます

ました。事故もなく全員無事に元気に帰ることができたことを感謝します。来年の旅行も楽しみにしています。
平成一八年七月二四日から勤務しています
沖津でした。

セルプ・みらい

ボーナスができました!!

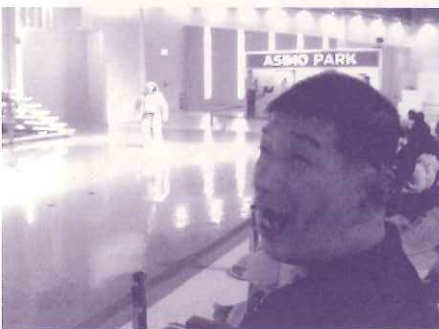
今年の夏もセルプ・みらいでは夏のボーナスの資金づくりとして、きょうされんの夏季物販に取り組みました。作業の合間をぬって、各関係機関や学校を中心にお願いでかけました。今年は四八三、六五〇円の売上げがあり、八九、〇七二円の収益が上がりました。昨年と比べると少し減ってしまいましたが、この収益が三人の利用者のボーナスの資金源となりました。役員会や全体反省会で話し合いをもち、九月二日に要望書を提出しました。九月二二日に所長と役員四名で要望書の中身について確認しあい、しっかりと期日を決め、再度、自治会として要望書を提出し直しました。その後、回答書をいただき、八月と九月の利用者の出勤率にあわせて一〇月の給料日に支給されることになりました。利用者にご感想を聞くと、夏のボーナス以上に、冬はがんばらなくちゃダメですねと決意を新たにしていました。

もって新聞報道などでその動向を注視してきたが、「理念」と「現実」との乖離が、当初から予測されたように、いま露呈されている。それも極めて深刻なものである。先日参加した「こぶしの会」の評議員会で、福祉の現場の困難な状況の報告を聞かされて胸が痛んだ。
この間、政治・経済の世界でも、強者の論理がまかり通るようになっていく。なにか私としても力にならなければと考えるこのころである。

けやき作業所

ツインリンク茂木で ロボット見学

けやき作業所余暇活動として、ツインリンク茂木へ最新のロボットASIMOを見に行きました。みんな動くロボットを見て喜んでいました。そのほかにもホンダの歴代の車などもあり、楽しめたようでした。



ロボットASIMO



完売！もうかりました byセルプ・みらい

がつついたち じっさん まつ しゅってん
10月1日(日)に日産しらさぎ祭りに出店
しました。おかげ様で、出品した餃子・炊き
こはんかんぱい
込みご飯は完売することができました。

(セルプ・みらい)

ふれんど パーク

じっさん まつ さんか
日産しらさぎ祭りに参加しました

さぎようしょ じっさんじどうしゃ
けやき作業所として、日産自動車のしらさ
まつ さんか さいしよ
ぎ祭りに参加しました。最初は、なかなかお
きゃく ひる
客さんもやってきませんでした。お昼ごろ
になるとたくさんの人たちがバンを買っていつ
てくださり2時ごろには完売してしまいました。
じ かんぱい
イベント等も鑑賞して楽しんで帰りました。
など かんしやう たの かせ
さぎようしょ
(けやき作業所)

しんぼくりよごう きむら ひろこ 木村 浩子 (しんぼくりよごうのじっごういいん)

バスのなかではクジヒキ、カラオケをしました。あさ
いくときは、わたしの「なまオケ」(ばんそうなしでう
たう)をうたいました。「たんまほ」「あしたのそらへ」
「あなたにあげる」をうたいました。はじめはきんちよ
うしていたのですが、だいじょうぶでした。ガイドさん、
やさしくて、うたもじょうずで、とてもきもちがいいひ
とでした。

たべるときやあるくときは、グループでこうどうしま
した。しゃしんもたくさんおもいでにとりました。ふね
にのり、なかまとしょくいんのひとたち、とてもとても
たのしそうでした。ふねにはトイレもあったので、わた
しがトイレにいったときすぐくゆれていました。じどう
はんぱいきもありましたががいません。それからホテル
にいき、えんがいじよで×Oクイズ、カラオケ、ににん
ばおりをしました。

しめん かんけい いちぶぼっすい じっさい なが りきさく
※紙面の関係で一部抜粋です。実際はもっと長い力作
でした。ごめんなさい。



したみ い じゅんび
下見にも行き、準備もバッチリでした。

こぶしSupporters

サポーターズ



後援会
保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強かにバックアップします ～

後援会ご入会ありがとうございました

10月の新規会員のみなさんをご紹介します(順不同・敬称略)

柳瀬典孝 篠原加奈子 (以上、セルブ・みらい)

ありがとうございました！！

栃木県シルバー大学校中央校学生自治会から貴重な寄付金をいただきました。こぶし作業所に10万円(10月21日)、地域活動支援センター「県東ライフサポートセンター・真岡」に10万円(10月27日)のご寄付を頂戴いたしました。ほんとうにありがとうございます。

中央校のみなさんには、年度はじめの社会福祉施設体験学習をきっかけにして、その後継続して、そして卒業されてからも様々な場面でボランティアとして力のこもったご協力をいただいております(こぶし作業所)。これまでのご支援とあわせて心より感謝申し上げます。

こぶし作業所親睦旅行ボランティアの感想

今回の旅行は自分にとって、心から楽しかったといえる旅行でした。バスでの旅行も何年ぶりだったし、なにより一緒に旅行をした「なかま」との旅の記憶は楽しいことばかりでした。また機会があったらぜひ参加したいと思います。

国際医療福祉大学 篠原貴仁

冬季物品販売にご協力ください

今年も各作業所にて「2007働く仲間のうたカレンダー」を販売しております。全国の作業所で働く障害のある仲間のみなさんがデザインしたカレンダーで、毎年好評を得ています。収益金は各作業所の利用者の工賃等に還元されます。

ご購入希望の方は、各作業所までお申し込みください(壁掛け版1,300円・卓上版1,000円)。

また、この他にも“相田みつを”のカレンダー等多数取り揃えておりますので、ぜひご連絡ください。カタログを進呈いたします。

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所 ㊟321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
・知的障害者通所授産施設
・日中一時支援事業
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- こぶしのときわ荘 ㊟321-3235 栃木県宇都宮市鐘山町字東原146-7
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (667) 5531
- く る み ㊟321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
・知的障害者通所授産施設
・指定生活介護事業
・日中一時支援事業
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 法人事務局
- 第2けやき作業所 ㊟321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
・指定就労移行支援事業
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- すずらんの家 ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
・知的障害者グループホーム
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
・知的障害者ケアホーム
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ㊟321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
・精神障害者グループホーム
TEL 028 (677) 0776
- セルプ・みらい ㊟321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
・知的障害者通所授産施設
・日中一時支援事業
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- ぼ て っ と ㊟321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
・知的障害者グループホーム
- 地域活動支援センター ㊟321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
[県南ライフサポートセンター・真岡]
・在宅障害(児)者の相談・就労支援
TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567

編 集 後 記

どうもはじめまして、けやき作業所の中村です。

さて、私は仲間とのかかわりを紹介するのがこぶしだよりだと思っておりますが、なかなか皆さんのよいところを紹介できず大変申し訳なく思っております。障害者自立支援法が10月から全面的に始まり、仲間も現実を前にだんだんと良い表情ができなくなっています。仲間の表情を取り戻すためにもできる限り現状を訴えていきたいです (中村 慶彦)

編集委員

枝 雅紀

廣本 佳奈子

中村 慶彦